	1 个総										_							令和	6年12月13	3 目
計画の 計画の							交付対象	富士見市												
計画0	り目標					\				m = 75 · 1·										
計画				、安全・	安心、快	適な暮ら	しを実現	し、良好な環境を創造する。												
	計画の成果目標(定量的指標) ①別所雨水ポンプ場の設備機器等更新工事の実施率を0%(H30)から100%(R4)に増加させる。 ②5か年における下水道都市浸水対策達成率を0%(H30)から100%(R4)に増加させる。 ③下水道ストックマネジメント計画を策定させる。 ④雨天時浸入水対策計画を策定させる。 ⑤下水道総合地震対策計画を策定させる。										黒字・・・計画 赤字・・・実績									
定量	的指標の	定義及び	算定式										定量的 当初現況値	指標の現 中間		を		備	考	
		-lv +2 \ / -	₽組办訊件	操电盘面	が上すの	中坛本							(H30当初)	(R2		(R4末)				
	①別所雨水ポンプ場の設備機器等更新工事の実施率 更新工事実施箇所(0施設) / (3施設) 0% 33% 100%																			
	0% 33% 67% ②5か年における下水道都市浸水対策達成率 67%																			
	浸水対策完了済面積 (0ha) /浸水対策目標面積 (1.0ha) 0% 50% 100%																			
	0% 100% ③下水道ストックマネジメント計画策定率 0% 100% 下水道ストックマネジメント計画策定件数1件/下水道ストックマネジメント計画を策定すべき件数1件 0% 100% 100% 100%																			
	④雨天時浸入水対策計画策定率																			
	雨天時浸入水対策計画策定件数1件/雨天時浸入水対策計画を策定すべき件数1件 0% 0% 100% 0% 100% 0% 0% 100%																			
⑤下水道総合地震対策計画策定率 下水道総合地震対策計画策定件数1件/下水道総合地震対策計画を策定すべき件数1件 0% 0% 100										100%										
					_	1 00	0.7.7.III		1				0%		%	100%				
鱼	全体事業費	3		計 B+C)			0百万円 百万円	A 1,820百万円 552百万円 B	0百万円	C 0百万円	D	0百万円	効果促進事 C/(A+]					0.0%		
									+ // == /	- /_ BB 37 (m)										
○事後評	価(中間)	評価)の	実施体制	、実施時	期					西 (中間評価)										
	後評価(中間評価)の実施体制、実施時期 評価(中間評価)の実施体制							事後評価(中間評価)の実施時期					加6年12月から令和7年1月予定							
						富士見	市下水道	事業審議会		公表の方法				<u> </u>						$\overline{}$
											•••計画 •••茲付	金事業の∂	4							
1. 交付	対象事業の	の進捗状	·況														・・・実績		,	
交付対象	事業	~ CD W	./-														(交付	金事業+	市単独事	業)
A 基幹 番号	争業 事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所	E)	車型			市町村名		事業実	延施期間(年度)		全体事業費	費用	個別施設計画
留り	種別	種別	対象	間接	尹未日	作里力[1]	1里万月2	女がこなる尹未和(尹未直川	1)	水処理施設、ポンプ設備、		の 重 新	山町村石	H30	H31	R2 R3	R4	(百万円)	便益比	策定状況
A07-001	下水道	一般	富士見市	直接	富士見市	ポンプ場	改築	別所雨水ポンプ場設備機器等更新事業		水処理施設、ポンプ設備の更新 水処理施設、ポンプ設備の更新 水処理施設、ポンプ設備の更新			富士見市					600 291 335		策定済
A07-002	下水道	一般	富士見市	直接	富士見市	管渠 (雨水)	新設	新河岸川第五排水区の雨水管整備		L=0.12 k m L=0.12 k m 計画策定及び調査			富士見市					1, 012 113 152		-
A07-003	下水道	一般	富士見市	直接	富士見市	i –	改築	下水道ストックマネジメント計画策定業務	計画策定及び調査 計画策定及び調査 対策工事(更生等)								170 132 138		策定済	
A07-004	下水道	一般	富士見市	直接	富士見市	管渠 (汚水)	改築	管渠施設更新事業	対策工事(更生等) 計画策定及び調査								0 0 89		策定済	
A07-005	下水道	一般	富士見市	直接	富士見市	管渠 (汚水)	改築	雨天時浸入水対策計画策定業務	計画策定及び調査 計画策定及び調査 計画策定及び調査								16 16		策定済	
A07-006	下水道	一般	富士見市	直接	富士見市	i –	改築	下水道総合地震対策計画策定業務					富士見市					0		策定済
	計画策定							計画策定及び調査								15 1, 820		 		
																合計		552 745		
B 関連	社会資本			L.									I		ᆂᄱᄯ	*护棚用 (左床)		11	# 17	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所	r)	事業	(内容		市町村名	Н30	事業 H31	E施期間 (年度) R2 R3	R4	全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
																 合計				
番号	一体的に	実施する	ことによ	り期待さ	れる効果	:														備考
C 効果	促進事業 事業	地域		直接	L. Mr. Ja	ec nut.	ec pula		->		6.1		-lamal I fa		事業生	医施期間 (年度)		全体事業費	費用	個別施設計画
番号	種別	種別	交付 対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所	r)	事業	美内容		市町村名	H30	H31	R2 R3	R4	(百万円)	便益比	策定状況
	(4.66) -	<i>⇔</i> ₩	- 1) - 1	10 Hn/+ 5) - 7 N H			1								合計				/#: -tx
					れる効果															備考
	資本整備 事業	<u>円滑化地</u> 地域	交付	直接	古光之	発則 1	毎回lo	而ました7 車番々(事業際託	5)	事業	4.中容		士町++-2		事業実	延施期間(年度)		全体事業費	費用	個別施設計画
番号	種別	種別	対象	間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所	1)	事業	美内容		市町村名	Н30	H31	R2 R3	R4	(百万円)	便益比	策定状況
番号	一体的に	宝協士ス	アレアト	り加法さ	九ス効里	•							•			合計	•			備考
田り	H-HJ(C	ノヘルピ リ '〜	1 - 4	- > NILL C	. ッ・ロガボ	•														ル用で
	連する事	業																		
計画等 番号	の名称 事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所	r)	事業	(内容		市町村名	Н30	事業実 H31	R2 R3	R4	全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画策定状況
	<u> </u>		<u> </u>		+	1											+	1		†

2. 事業効果の発現状況、目標値の						資料1-2
I 定量的指標に関連する交付対象事業	の効果の発現状況	②水子地区(新河岸川第五排水区)に ③平成30年度にストックマネジメント 朽化対策を取り組めるようになった。 ④令和3年度に雨天時浸入水対策計画	ごおいて、新たに別所雨水、全体計画を策定して今後 を作成、令和4年度に同計	幹線を115.7m整備 の改築方針を定め 画を策定させ、優	ことで適切な機能を確保し、水谷東地区の浸水対策強化を図ることができた。 し、浸水被害軽減を図ることができた。 ると共に、令和元年度にポンプ施設、令和2年度に管路施設に係るストックマネジメント実施計画を策定し、優先順位 先順位の高い処理分区から計画的に雨天時浸入水対策を取り組めるようになった。 優先順位の高い箇所から計画的に地震対策を取り組めるようになった。	
Ⅱ定量的指標の達成状況	指標①	最終目標値 最終実績値	100% 67%		平成30年度・令和元年度の下水道ストックマネジメント計画策定業務において、現状把握のうえ優先順位を検討し更工事工期に変更が生じたことから3施設のうち1施設(発電機設備)が目標未達成となった。	新設備を選定した結果、
	指標②	最終目標値 最終実績値	100% 100%	目標値と実績値 に差が出た要因		黒字・・・計画赤字・・・実績
	指標③	最終目標値 最終実績値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因		外丁 天假
	指標④	最終目標値 最終実績値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因		
	指標⑤	最終目標値 最終実績値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因		
Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の	効果の発現状況					

3. 特記事項(今後の方針等)

(必要に応じて記述)

- ・現在実施している別所雨水ポンプ場の発電機設備については、別途、令和5年度水管理・国土保全局所管補助事業補助金を活用し、更新工事に取り組む。 ・安全・安心、快適な暮らしを実現するため、次期社会資本整備計画(令和5年度~令和9年度)においても、各種計画を更新すると共に、各種対策に取り組む。